

平成31年度 生命環境学部 環境デザイン学科
推薦入試 小論文問題

[注 意]

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号および氏名を必ず記入すること。
- 5 この冊子の問題は3ページからなっている。
- 6 この冊子のうち、落丁・乱丁及び印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 字数制限のある解答には、句読点やカッコ、数字はそれぞれ1字として数える。
- 8 試験開始後60分を経過しないと退室できない。また、試験終了前10分間は退室できない。
退室する時は、手をあげて申し出た上で、試験監督者の指示に従うこと。なお、解答用紙は机上に置き、その上に試験監督者が配付する用紙を重ね、問題冊子は持ち帰ること。

1 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(50点)

(著作権の関係で掲載しておりません)

(出典：原 研哉『日本のデザイン－美意識がつくる未来』岩波書店，2011年，ただし，出題の都合上，原文の一部を変更している。)

問1 本文中（A）に当てはまる語彙を答えなさい。

問2 本文中（B）と（C）に当てはまる語彙を答えなさい。

問3 日本の都市や田舎の美しい（A）を取り戻すためにはどうすれば良いか。そのあるべき姿を示し、課題を明らかにしつつ、再生のための方策を具体的に論じなさい。文字数は全体で500字以内とする。

- 2 次の文章は、照明デザイナーであり大学でも教鞭を執ってきた面出薫氏が述べたものである。筆者の考えを踏まえた上で、環境デザインに対する自分の考えを、タイトルを付けて600字以内（日本語）で論じなさい。（50点）

（著作権の関係で掲載しておりません）

（出典：面出薫＋ゼミ編集委員会編著『光のゼミナール 武蔵野美術大学 空間演出デザイン学科 面出薫ゼミ 10年間の記録』鹿島出版会，2013年，ただし，出題の都合上，原文の一部を変更している。）

注) dubious：疑わしい，synonymous：同義の，magnificence：豪華，glitter：きらめき，lighting fixture：照明器具，stirring：感動的な，profound：深遠な，limitless：無限の